

EVENT CALENDER

大会や講習会を予定しておられる主催者の皆様、イベント情報をワールドニュース編集部までご連絡ください

公益社団法人日本パワーリフティング協会（J P A）の公認パワーリフティング並びにベンチプレス競技会に出るには平成 30 年度 JPA 登録が必要です。登録手続きは JPA ホームページをご参照ください。（H 30 年度は H30.4.1～H31.3.31 までです）

団体登録費		10,000 円
選手登録費団体所属	一般・マスターズ	5000 円
個人登録	一般・マスターズ	10,000 円
団体、個人登録にかかわらず	大学生	2000 円
	中高生	1000 円

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟（J P P F）の大会に参加を希望される場合は、J P P F への登録が必要です。（H 30 年度は H30.4.1～H31.3.31 までです。登録はホームページの各種登録から。（<http://jppf.jp/>）選手登録費は 2000 円です。

ワールドニュースでは、噂で聞いたイベントもカレンダーで紹介しております。詳細は主催、主管協会にお問合せ下さい。連絡先については、都道府県協会、J P A 事務局、J P P F とある場合は名簿を参照して下さい。パラ・パワーリフティング大会とあるのは、パラリンピック系のパワーリフティング大会を指します。

平成 30 年大会予定（2018 年）

5 月

1 3 - 1 9	世界クラシックベンチ 一般、マスターズ、ジュニア、サブジュニア Vantaa、フィンランド	
2 0	香川県春季パワーリフティング選手権大会（N + F） & 香川県オープンブッシュプルスーパー選手権 四国電力体育館 （高松市屋島西町 2109-8）	問合せ；香川県協会
2 6 - 2 7	全日本ジュニア、サブジュニア、マスターズ（3 種） さくら区体育館、埼玉県	問合せ；埼玉県協会

6 月

3	国体関東ブロック予選 袖ヶ浦市臨海スポーツセンター	問合せ；関東ブロック
1 0	東海高校（愛知県新人） 岡崎城西高校	問合せ；愛知県協会
1 0	山口県ベンチプレス選手権大会 & 広島県ベンチプレス選手権大会 ステイヤング（山口県防府市） 検量 10 時、競技開始 12 時 問合せ；山口県 0835-22-1358（國弘）	

広島県 082-548-4808（増田）

6 - 1 7	世界クラシックパワー 一般、マスターズ、ジュニア、アサブジュニア カルガリー、カナダ	
1 6 - 1 7	全日本男子&女子 つくば市民ホールやたべ	問合せ；茨城県協会
2 4	沖縄県サマーベンチプレス選手権大会 奥武山公園県立武道館トレーニング室	問合せ；沖縄協会

7 月

1	関東学生 埼玉大学	問合せ；関東学生
1	中部学生 名城大学	問合せ；中部学生
8 - 1 4	世界大学選手権 ピルセン、チェコ共和国	
未定	世田谷ベンチ 東京農業大学農友会常磐松会館道場	問合せ；東京協会

8 月

5	全日本高校 大宮武道館	問合せ；高校連盟
1 1 - 1 2	全日本学生 さくら区体育館、埼玉県	問合せ；関東学生

9 月

2 - 8	世界ジュニアサブジュニア Potchefstroom、南アフリカ	
6 - 1 2	アジアベンチ（ギア+クラシック） ドバイ、UAE	
8 - 1 2	パラ・パワーリフティングアジアオープン選手権大会 東京パラリンピック予選対象大会 北九州市芸術劇場	問合せ；JPPF 事務局
8 - 9	ジャパクラシックマスターズパワー 北海道江別市	問合せ；J P A
未定	アジアベンチ フィリピン	問合せ；J P A
2 2 - 2 3	国体公開競技 福井県大野市 越前おおのまちなか交流センター	
3 0	愛知県ベンチプレス選手権大会 & 名古屋市オープンベンチ 岡崎市総合公園第一練成道場	

10 月

EVENT CALENDER

大会や講習会を予定しておられる主催者の皆様、イベント情報をワールドニュース編集部までご連絡ください

1-6	世界マスターズパワー ウランバトル、モンゴル		2	中部学生、新人戦 名城大学	問合せ；中部学生
7	関東ベンチ 栃木県小山市	問合せ；関東ブロック	4-8	アジアクラシックパワー マニラ、フィリピン	
7	プッシュブル・ファイト選手権 岡崎市城南学区子供の家体育館		5-12	バラ・パワーリフティングアメリカオープン (IPCコーチが参加するときのみ実施)	
13-14	全日本ベンチ ディスポート南魚沼	問合せ；新潟県協会		Cartagena, コロンビア	問合せ；JPPF
14	全日本実業団パワー &教職員大会 栃木県、日産自動車体育館	問合せ；実業団連盟	9	千葉県パワー(茨城国体第一次予選)	問合せ；千葉県協会
14	沖縄県民体育大会ベンチプレス競技会 奥武山公園県立武道館トレーニング室	問合せ；沖縄協会	未定	ウェストトーキョーベンチ パワーハウス	問合せ；東京協会
21	香川県秋季パワーリフティング選手権大会(N+F) 全日本オープンプッシュブルスーパー選手権大会 四国電力体育館	問合せ；香川県協会	平成31年大会予定(2019年)		
27	愛知県選手権(一般、高校) 岡崎市総合公園第一練成道場	問合せ；愛知県協会	1月		
未定	東京都PL&BP 未定	問合せ；東京都協会	19-20	ジャパクラシックベンチ 大阪府堺市大浜体育館	問合せ；大阪府協会
11月			2月		
4-10	世界男女 Halmstad、スウェーデン		9-11	ジャパクラシックパワー 一般、ジュニア、サブジュニア つくば市カピオ	問合せ；茨城協会
11	関東パワー 山梨県笛吹市剣道場	問合せ；関東ブロック	未定	ウェストトーキョーパワー パワーハウス	問合せ；東京協会
11	佐賀県長崎県合同パワー大会 佐賀県総合体育館	問合せ；佐賀県協会	3月		
未定	秋季関東学生 未定	問合せ；関東学生連盟	3	第一回彩の国ベンチプレス大会(旧首都圏ベンチ)	問合せ；埼玉協会
18	神奈川県パワー(茨城国体第一次予選) 神奈川県スポーツセンター予定	問合せ；神奈川県協会	3-7	バラ・パワーリフティングワールドカップドバイ (IPCコーチが参加するときのみ実施)	
18	沖縄県民体育大会パワーリフティング競技 奥武山公園県立武道館トレーニング室	問合せ；沖縄協会	未定	ドバイ、UAE	問合せ；JPPF
19	秋季徳島県クラシックパワー&ベンチ大会 徳島市勤労者体育館	問合せ；徳島県協会	未定	首都圏ベンチ 埼玉県	問合せ；埼玉県協会
25	埼玉パワー(茨城国体第一次予選)予定 サイデン化学アリーナ(旧さくら記念体育館)	問合せ；埼玉県協会	24	全日本高校選抜 さいたま市大宮武道館	問合せ；埼玉県協会
12月			4月		
			未定	世界ベンチ 東京、日本	
			5月		
			1-5	アジアパワー 香港	
			12-19	世界ベンチ(クラシック+ギア) 品川プリンスホテル	問合せ；JPA
			2-5	バラ・パワーリフティングワールドカップイーガー大会 (IPCコーチが参加するときのみ実施)	

EVENT CALENDER

大会や講習会を予定しておられる主催者の皆様、イベント情報をワールドニュース編集部までご連絡ください

イーガー、ハンガリー

問合せ：J P P F

平成 35 年大会予定 (2023 年)

6 月

9 月未定 佐賀県国体 (公開競技)

3-15

世界クラシックパワー

平成 36 年大会予定 (2024 年)

Helsingborg、スウェーデン

9 月未定 滋賀県国体 (公開競技)

7 月

平成 37 年大会予定 (2025 年)

未定 世界大学選手権

9 月未定 青森県国体 (公開競技)

27-8/3

パラ・パワーリフティング世界選手権

(東京パラリンピック参加者必須参加大)

アルマティ、カザフスタン 問合せ：JDPF、吉田

8 月

26-31

世界ジュニア

Regina、カナダ

9 月

6-12

アジアベンチ (クラシック+ギア)

ウランバートル、モンゴル

未定 茨城国体 (公開競技)、つくば市開催

10 月

6-13

世界マスターズパワー

Potchefstroom、南アフリカ立候補

11 月

未定 世界選手権

ミンスク、ベラルーシ立候補

12 月

4-8

アジアクラシックパワー

マスカット、オマーン

平成 32 年大会予定 (2020 年)

2 月 29 日、東京パラリンピック大会参加希望選手ランキング最終締切

3 月

3-7

パラ・パワーリフティングワールドカップドバイ

(IPC コーチが参加するときのみ実施)

ドバイ、UAE

問合せ：J P P F

7 月

7 月 24-8 月 9 日 東京オリンピック

8 月

8 月 25-9 月 6 日 東京パラリンピック

9 月未定 鹿児島国体 (公開競技)

平成 33 年大会予定 (2021 年)

9 月未定 三重県国体 (公開競技)

平成 34 年大会予定 (2022 年)

9 月未定 栃木県国体 (公開競技)

問合せ先

（公社）日本パワー協会

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館 4 F

T:03-3481-1020 F:03-3481-1021

メール；powerlifting@japan-sports.or.jp

技術委員会 阿南喜裕

〒703-8241 岡山市中区高島新屋敷 206-15

T&F 086-275-0370 メール；anany1975@yahoo.co.jp

国際委員会 J P A 本部、山口真人

実業団連盟 河部勝次（問合せは下記事務局へ）

〒301-0902 稲敷市上根本 8330-6 五十嵐清四郎

携帯；090-3003-9175 F:0297-87-5108

大学連盟 石井直方

〒153-8902 目黒区駒場 3-8-1 東大身体運動科学研究棟内

F:03-5454-4317

高校連盟 石原正規（問合せは下記事務局へ）

〒337-0975 さいたま市緑区代山 172 浦和学院高校内

秋本敦子 T:048-878-2101 F:048-878-3335

教職員ネットワーク 中谷幸市（代表幹事）

〒188-0001 西東京市谷戸町 3-13-18

T:090-6122-4727

北海道・東北ブロック 太田勇吉

〒030-0964 青森市南佃 2-23-42 TEL 017-718-1775

北海道 佐藤勝義（連絡は下記へ）

〒078-8261 旭川市東旭川南 1 条 5-6-3 トータル旭川、菅原方

T&F:0166-36-2972

青森 葛西孝志（連絡は下記へ）

〒030-0851 青森市旭町 3-4-8 B-3

T&F:017-777-6157 阿部靖

秋田 高橋誠広（連絡は下記へ）

〒018-1523 南秋田郡井川町坂本三獄下 138 伊藤和弘方

T&F:018-874-2541

岩手 伊藤英伸

〒029-4102 西磐井郡平泉町平泉字樋の沢 39-5

T&F:0191-46-4782

山形 菊池芳徳

〒992-0472 南陽市宮内 3512-2 T:0238-47-4397

宮城 齋藤高史（連絡は下記へ）

〒981-0111 宮城郡利府町加瀬字野中沢 90-1 THE ZEN CLUB

K&B GYM 鈴木俊彦 T:090-5232-5690 F:022-356-7071

福島 片平登

〒960-8163 福島市方木田方字方木田 41-7 T:024-546-2679

関東ブロック 小森正昭

〒708-0015 千葉県市川市福栄 3-23-1-713 T:047-395-5048

（関東大会は下記の順で開催されます）

山梨 関本正志

〒406-0801 笛吹市御坂町成田 1786-1 (株) ARCA 山梨内

T:055-261-8777 F:055-261-8778

神奈川 小野琢司（連絡は事務局へ）

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 1537 佐野博

T&F:045-862-2653

東京 小森正昭（連絡は事務局へ）

〒182-0036 調布市飛田給 1-28-7 パワーハウス内 物江毅

T&F;042-444-5787、14-22 時

埼玉 椎橋 文夫（連絡は下記へ）

〒354-0015 富士見市東みずほ台 3-1-1-201

T&F;049-256-7720

群馬 西脇聖明

〒371-0855 前橋市問屋町 1-11 2F スポーツジムユニコーン

T&F:027-255-0180 (PM17 ~ PM23)

栃木 仲澤敏夫（連絡は下記へ）

〒321-0912 宇都宮市石井町 2800-157-501 荻原明信

T&F:028-663-7860

茨城 寺門浩之

本部；〒311-0131 那珂市北酒出 819

協会専用電話；029-298-2407 F:029-295-7806

千葉 中野努（連絡は下記へ）

〒299-0111 市原市姉崎 2567-1 エスフォルサール、加藤義治

T&F:0436-62-9569

東海ブロック 伊藤教雄

〒443-0045 愛知県蒲郡市旭町 8-21 T:0533-67-4123

静岡 福島政幸（連絡は事務局へ）

〒435-0015 浜松市東区子安町 318-18 原利夫

T&F:053-464-4443

愛知 伊藤教雄（連絡は下記へ）

〒440-0011 豊橋市牛川通 3-2-9 パワーフィットネス川辺一郎

T&F:0532-63-6955

三重 三橋信之（連絡は下記へ）

〒514-2308 津市安濃町川西 283 眞柄伸幸

T:090-2777-1573 F:059-268-3775

岐阜 久野毅（連絡は下記へ）

〒505-0032 美濃加茂市田島町 4-4-12 T:0574-25-3202

北信越ブロック 相馬満信

〒950-2076 新潟市西区上新栄町 6-4-1 T:025-269-0093

福井 武井康弘（連絡は下記へ）

〒912-0815 大野市下麻生鴨 81-5 豊屋英朗 T:0779-66-6435

問合せ先

新潟 相馬満信（連絡は下記へ）

〒 950-0986 新潟市中央区神道寺南 2-10-10 西野朋子
T&F; 025-246-0546

長野 北澤国彦

〒 399-9211 北安曇郡白馬村神代 22200-42 チームレスキュー
T&F; 0261-75-4331

富山 吉野孝正

〒 939-2605 富山市婦中町河原町 456 T ; 076-469-2056

石川 渡辺智康（連絡は下記）

〒 920-0001 金沢市千木町ル 215 森岡一義
T; 090-2831-7856 F; 076-266-2333(日本美装)

近畿ブロック 廣岡寛

〒 546-0033 大阪市東住吉区南田辺 4-8-28-401
T; 06-6697-03794275

大阪 門真一郎

〒 559-0006 住之江区浜口西 1-2-7
T; 090-9111-3040 F; 06-6678-1664

滋賀 中出裕己（近畿ブロック長に連絡を）

京都 三浦重則

〒 621-0831 亀岡市篠町森向坂 1-13 T; 0771-23-5420

兵庫 塩田宗廣

〒 662-0082 西宮市苦楽園二番町 8-18 T : 090-1907-7139

奈良 道下健一

〒 631-0078 奈良市富雄元町 1-5-28-208 T&F; 0742-43-3919

和歌山 梶川幸朗

〒 640-8329 和歌山市田中町 3-81
T; 073-436-6585 F; 073-436-6693

中国ブロック 石本直樹

〒 708-0015 岡山県津山市神戸 800-1
T; 0868-28-0535 F; 0868-28-4521

岡山 石本直樹（連絡は下記へ）

〒 700-0082 岡山市北区津島福居 1-7-27-4 岡大WT合宿所
浅野立直 T; 080-6313-5981 F; 086-255-5889

山口 國弘竹二

〒 747-0037 防府市八王子 1-10-13 ステイヤング
T&F; 0835-22-1358

鳥取 谷本明禧

〒 682-0023 倉吉市山根 557-1 パープルタウンゴールドジム
T; 0858-26-5928 F; 0858-26-9434

広島 濱本清司（連絡は下記へ）

〒 720-1812 神石郡神石高原町柚木甲 5143-4 池田文昭
T; 090-2006-5699 F; 0847-82-2044

島根 木谷健一（連絡は下記へ）

〒 693-0055 出雲市八島町 44 花田祥之
T; 080-1912-4464 F; 0853-23-4902

四国ブロック 高井隆義（徳島県と同じ）

高知 山本英立

〒 780-8075 高知市朝倉南町 5-14-6
T. 090-7753-1422

香川 植田英司

〒 760-0078 高松市今里町 2-18-4 高松TC 中尾達文
T; 087-834-7983 F; 087-834-9665

徳島 高井義隆

〒 770-8003 徳島市津田本町 5-1-23
T; 088-663-4705 F; 088-662-4475

愛媛 宮内洋一

〒 790-0966 松山市立花 6-5-10
T; 089-945-4978

九州ブロック 藤井正通 連絡は長崎県へ

長崎 藤井正通

〒 817-0015 対馬市巖原町西里 77-4
T&F; 0920-52-3463

福岡 鶴忠信

〒 816-0804 春日市原町 1-95
T&F; 092-573-5843

佐賀 福井浄

〒 840-0016 佐賀市南佐賀 1-21-28
T&F; 0952-23-1628

熊本 甲斐祐規

〒 861-1102 合志市須屋 2745-114
T&F; 096-242-5620

大分 新役員調整中

宮崎 井本全保

〒 882-0023 延岡市牧町 4668-2
T; 0982-32-0538

鹿児島 櫻山龍一

〒 899-5102 霧島市隼人町真孝 1570-7 ティーズ1F
T; 0995-43-4977 F. 0995-43-0509

沖縄 比屋定英信（連絡は下記へ）

〒 901-0244 豊見城市字宜保 118 濱里一
T&F 098-995-8459

特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟（JPPF）

事務局 〒 107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 4 F
電話 03-6229-5423 F A X 03-6229-5420

国際大会派遣選手選考基準

＜ 2018年度／平成30年度＞

技委発第17-4号通達
平成30年 1月 6日
JPA技術委員会

国際大会派遣選手選考規程第2条第2項の規定に基づいて、以下のとおり定める。

1 国際大会の選考大会

・2018年度における国際大会の参加選手の選考大会となる全日本選手権大会は、次のとおりとする。

世界男子・女子パワーリフティング選手権大会	2018年度全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会（6月・茨木）
世界マスターズパワーリフティング選手権大会	2018年度全日本マスターズパワーリフティング選手権大会（6月・埼玉）
世界ジュニアパワーリフティング選手権大会	2018年度全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会（6月・埼玉）
世界サブジュニアパワーリフティング選手権大会	2018年度全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会（6月・埼玉）
世界クラシックパワーリフティング選手権大会（ノーギア）（全カテゴリー含む）	・（マスターズ以外）2017年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（2月10-11日・沖縄） ・（マスターズ）2017年度ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会（2017年9月16-17日・兵庫）
世界ベンチプレス選手権大会（フルギア）（全カテゴリー含む）	2017年度全日本ベンチプレス選手権大会（1月27-28日・和歌山）
世界クラシックベンチプレス選手権大会（ノーギア）（全カテゴリー含む）	2017年度ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会（2017年10月28-29日・栃木）
世界学生パワーリフティングカップ（ノーギア）	2017年度全日本学生パワーリフティング選手権大会（2017年7月30・大阪）と、2017年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（2月10-11日・沖縄）における総合評価
アジアパワーリフティング選手権大会	・（一般、マスターズ）2017年度全日本男子・女子・マスターズパワーリフティング選手権大会（2017年7月15-17日・長野） ・（上記以外）2017年度全日本ジュニア・サブジュニアパワーリフティング選手権大会（2017年5月27日・長野）
アジアクラシックパワーリフティング選手権大会（ノーギア）	・（マスターズ以外）2017年度ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会（2月10-11日・沖縄） ・（マスターズ）2017年度ジャパンクラシックマスターズパワーリフティング選手権大会（2017年9月16-17日・兵庫）
アジアベンチプレス選手権大会	2017年度全日本ベンチプレス選手権大会（1月27-28日・和歌山）
アジアクラシックベンチプレス選手権大会（ノーギア）	2017年度ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会（2017年10月28-29日・栃木）

・上記以外の国際大会については、その都度、選考条件等を明確にして対応する。

2 国際大会参加標準記録

(1) 世界男子・女子

選考大会となる全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルが一般の全日本大会参加標準記録の105%以上。

(2) 世界マスターズ

選考大会となる全日本マスターズパワーリフティング選手権大会において4位以内に入賞し、かつトータルが一般の全日本大会参加標準記録に対して、マスターズⅠは90%以上、マスターズⅡは85%以上、マスターズⅢは80%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

(3) 世界ジュニア

選考大会となる全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルが一般の全日本参加標準記録の90%以上。

※女子43kg級は211.5kg、男子53kg級は414kgを参加標準記録とする。

(4) 世界サブジュニア

選考大会となる全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、トータルが一般の全日本参加標準記録の75%以上。

※女子43kg級は176.25kg、男子53kg級は345kgを参加標準記録とする。

※高校連盟との申し合わせにより、選手枠に空きがある場合は、そのクラスの準優勝者で国際大会参加標準記録を達成した競技者の中から、フォーミュラの高い順に選考する。ただし、辞退者がいても繰り上げない。

(5) 世界クラシックパワー

- ・一般（シニア）については、選考大会となるジャパクラシックパワーリフティング選手権大会において3位以内に入賞し、かつトータルがノーギア一般の全日本参加標準記録の105%以上。

- ・マスターズについては、選考大会となるジャパンマスターズクラシック選手権大会において4位以内に入賞し、かつトータルがノーギア一般の全日本大会参加標準記録に対して、マスターズⅠは90%以上、マスターズⅡは85%以上、マスターズⅢは80%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

- ・ジュニアについては、選考大会となるジャパクラシックパワーリフティング選手権大会（ジュニア）において3位以内に入賞し、かつトータルがノーギア一般の全日本参加標準記録の90%以上。

- ・サブジュニアについては、選考大会となるジャパクラシックパワーリフティング選手権大会（サブジュニア）において3位以内に入賞し、記録がノーギア一般の全日本標準記録の75%以上。

※ジュニア女子43kg級は157.5kg、男子53kg級は319.5kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は131.25kg、男子53kg級は266.25kgを参加標準記録とする。

※女子の参加標準記録基準値は、フルギア一般女子標準記録の75%の値を代用する。

(6) アジアパワー（シニア・マスターズ・ジュニア・サブジュニア）

- ・各選考大会において4位以内に入賞していること。

- ・一般（シニア）については、選考大会となる全日本男子・女子パワーリフティング選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録の100%以上。

- ・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる全日本マスターズ、ジュニア、サブジュニア選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録に対して、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は199.75kg、男子53kg級は391kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は164.5kg、男子53kg級は322kgを参加標準記録とする。

(7) アジアカラシックパワー（シニア・マスターズ・ジュニア・サブジュニア）

- ・各選考大会において4位以内に入賞していること。

- ・一般（シニア）については、選考大会となるジャパクラシックパワーリフティング選手権大会において、トータルがノーギア一般の全日本参加標準記録の100%以上。

- ・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる各種ジャパクラシックマスターズ、ジュニア、サブジュニア選手権大会において、トータルが一般の全日本参加標準記録に対

して、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は148.75kg、男子53kg級は301.75kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は122.5kg、男子53kg級は248.5kgを参加標準記録とする。

(8) 世界ベンチプレス

選考大会となる全日本ベンチプレス選手権大会において3位以内に入賞し、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の125%以上。

(9) 世界マスターズベンチプレス

選考大会となる全日本マスターズベンチプレス選手権大会において4位以内に入賞し、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録に対して、マスターズⅠは100%、マスターズⅡは90%、マスターズⅢは80%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

(10) 世界ジュニア・サブジュニアベンチプレス

・ジュニアについては、選考大会となる全日本ジュニアベンチプレス選手権大会において3位以内に入賞し、かつ記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の100%以上。

・サブジュニアについては、選考大会となる全日本サブジュニアベンチプレス選手権大会において3位以内に入賞し、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の80%以上。

※ジュニア女子43kg級は55kg、男子53kg級は120kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は44kg、男子53kg級は96kgを参加標準記録とする。

(11) 世界クラシックベンチプレス

・各選考大会において3位以内に入賞していること。

・一般（シニア）については、選考大会となるジャパクラシックベンチプレス選手権大会において、記録が一般のジャパクラシックベンチプレス参加標準記録の125%以上。

・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となるジャパクラシックマスターズ、ジュニア、サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般のジャパクラシックベンチプレス参加標準記録の、ジュニア・マスターズⅠは100%、マスターズⅡは90%、サブジュニア・マスターズⅢは80%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は40kg、男子53kg級は97.5kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は32kg、男子53kg級は78kgを参加標準記録とする。

(12) アジアベンチプレス

・各選考大会において4位以内に入賞していること。

・一般（シニア）については、選考大会となる全日本ベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の100%以上。

・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となる全日本マスターズ、ジュニア、サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般の全日本ベンチプレス参加標準記録の、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は46.75kg、男子53kg級は102kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は38.5kg、男子53kg級は84kgを参加標準記録とする。

(13) アジアクラシックベンチプレス

・各選考大会において4位以内に入賞していること。

・一般（シニア）については、選考大会となるジャパクラシックベンチプレス選手権大会において、記録が一般のジャパクラシックベンチプレス参加標準記録の100%以上。

・マスターズ、ジュニア、サブジュニアの選手については、選考大会となるジャパクラシックマスターズ、ジュニア、サブジュニアベンチプレス選手権大会において、記録が一般のジャパクラシックベンチプレス参加標準記録の、ジュニア・マスターズⅠは85%、マスターズⅡは80%、サブジュニア・マスターズⅢは70%以上。マスターズⅣは記録を定めない。

※ジュニア女子43kg級は34kg、男子53kg級は82.875kgを参加標準記録とする。

※サブジュニア女子43kg級は28kg、男子53kg級は68.25kgを参加標準記録とする。

(14) 世界学生パワー

別途定めるものとする。

3 選考方法（国際大会派遣選手選考規程第3条、第6条及び第8条に準拠する）

- ・上記「1」に示す国際大会の選考大会にて、各国際大会の参加標準記録を突破した選手に、国際大会参加権利が与えられる（優勝しても上記参加標準記録を突破していなければ選考対象にならない）。
- ・選手選考では、原則として各階級1名を選考する。但し、空き枠の発生により同階級内2名までの選考を認めることがある。
- ・選考の時点では、いかなる場合も選考会出場階級以外での国際大会参加権利は与えられないものとする（選手団結成後において、階級変更が生じる場合、各国際大会選手団長の判断に委任する。但し、同じクラスに3名の選手が出場を希望した場合、そのクラスの優勝者が最優先となり、あとはフォーミュラの高い方が優先となる）。
- ・選考の優先順位は次の通りである。
 - ① そのクラスの優勝者で上記国際大会の参加標準記録を突破している者。
 - ② 上記①の該当者が辞退した場合、辞退者と同階級の2位の選手で上記国際大会の参加標準記録を突破している者。
 - ③ この時点で空き枠が発生する場合、②に該当しない各階級2位の選手で上記国際大会の参加標準記録を突破している者の中から、フォーミュラの高い順に選考する。
 - ④ この時点で空き枠が発生する場合、②及び③の選考方法に準じ3位、またはそれ以下に繰り下げて選考する。

4 選手選考における付加条件

- ・カレンダーイヤーで、国際大会の出場時点ではマスター各カテゴリーであるが、選考大会の開催時点では、そのカテゴリーに達していない競技者の場合、選考大会時は適正カレンダーイヤーのカテゴリーで出場し、国際大会出場予定時の該当カテゴリーでの選考対象に加える。
- ・優勝者のカテゴリーが変わり、空き枠が発生した場合、2位以下をそれぞれ繰り上げて選考する。
- ・マスターズクラスの選考に関しては、各選手の出場年齢カテゴリーごとに選考する。

例1：選考大会出場時はカレンダーイヤー39歳だが、国際大会出場時は40歳になる場合。

⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はオープンで参加し、マスターIの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。

例2：選考大会出場時はカレンダーイヤー49歳だが、国際大会出場時は50歳になる場合。

⇒選考大会となる全日本マスターズ選手権大会はマスターIで参加し、マスターIIの優勝者と記録を比べ、上回った方が優先権を得る。

5 その他

- ・技術委員会及び国際委員会は、選手団の編成や国際大会選手派遣に関する業務に支障を来す言動を取る競技者がいる場合、当該競技者を選考対象及び選手団の編成から外すことができる。

以上

関係各位

技術委員長 阿南 喜裕
(公印省略)

平成30年度 JPAが主催する全国規模の競技会における出場標準記録について

1. 出場標準記録を設ける競技会

- 1-1. 表1に定める全国規模競技会(以下、「全国大会」と称す)においては「出場標準記録」を設けるものとし、選手はその記録以上の実績を有していなければならない。尚、出場標準記録は、性別、年齢カテゴリー、階級ごとに設けるものとし、その記録は別表による。

【表1】 JPAが出場標準記録を設定する全国大会

競技会名	出場標準記録	男子 実施カテゴリー				女子 実施カテゴリー			
		一般	サブジュニア	ジュニア	マスターズ1~4	一般	サブジュニア	ジュニア	マスターズ1~4
1 全日本男子パワーリフティング選手権大会	表2	◎	—	—	—	—	—	—	—
2 全日本女子パワーリフティング選手権大会	表2	—	—	—	—	◎	—	—	—
3 全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会	表2	—	◎	—	—	—	◎	—	—
4 全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会	表2	—	—	◎	—	—	—	◎	—
5 全日本マスターズパワーリフティング選手権大会	表2	—	—	—	◎ *1	—	—	—	◎ *1
6 全日本ベンチプレス選手権大会	表3	◎	—	—	—	◎	—	—	—
7 全日本サブジュニアベンチプレス選手権大会	表3	—	◎	—	—	—	◎	—	—
8 全日本ジュニアベンチプレス選手権大会	表3	—	—	◎	—	—	—	◎	—
9 全日本マスターズベンチプレス選手権大会	表3	—	—	—	◎ *1	—	—	—	◎ *1
10 ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会	表4	◎	◎	◎	◎ *1	◎	◎	◎	◎ *1
11 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会	表5	◎	◎	◎	◎ *1	◎	◎	◎	◎ *1

※上記1~9:フルギア大会、10~11:ノーギア大会

- 1-2. 以下のカテゴリーについては、出場標準記録を設けないものとする。

*1. 全ての全国大会における、マスターズ4部門。(カレンダーイヤーによる70歳以上)

※全ての全国大会において、女子の標準記録を新設する。(マスターズ4部門を除く)

2. 選手の実績として認められる有効期間と競技会

- 2-1. 選手の実績は、次に定める期間および競技会における成績を有効とする。

- 2-2. 有効期間は、当該全国大会の前年度開催日の初日から、当年度の申込み締切日までとする。(大会当日の記録を含む) 但し、その期間が6ヶ月未満となる場合は、別途定めるものとする。

- 2-3. 有効とする競技会は、以下のとおりとする。

1) 日本国内で開催されるJPA公認競技会であること。

例1) 平成30年度全日本マスターズパワーリフティング選手権大会においては、平成29年度の同大会の成績は有効である。

また、同大会以降開催の他の全国大会(全日本男女パワーリフティング選手権大会等)の成績も有効である。

2) IPF・APF主催ならび傘下協会主催の各世界選手権大会

原則として、カテゴリー(フルギア/ノーギア)、および競技種別(パワーリフティング/ベンチプレス)は同一であること。

パワーリフティング競技会のベンチプレス種目の記録がシングルベンチプレス競技の標準記録を突破した際は、従来通りそれを認める。

但し、ノーギア大会でフルギア全国大会の標準記録を突破した場合は、それを認める。

例1) フルギア大会での成績が、ノーギア全国大会の標準記録を超えていたとしても、それへの出場はできない。

- 2-4. マスターズIV等標準記録を定めないカテゴリーでも、上記2-2.で定められた期間内に最低1回以上の公式戦参加が必要となる。

参加が無い場合は、標準記録の有無にかかわらず、当該競技会への参加要件を満たさないものとして扱う。

なお、この項は、平成27年6月1日以降に実施される全国規模競技会すべてに適用される。

3. 実績と異なる階級への出場について

選手は、標準記録以上の成績を納めた際の階級と異なる階級へは、出場はできないものとする。

但し、体重より更に重い階級の標準記録を突破している場合のみ、その重い階級への出場は認められる。

例1) 74kg級で出場した際に、83kg級の標準記録まで突破している選手は、66kg級へは出場できないが、83kg級には出場できる。

4. 推薦枠について

4-1 全日本パワーリフティング選手権大会(一般のみ)においては、標準記録に満たない選手であっても、次の基準においてブロック推薦選手および学連推薦選手の出場を認めることができる。

1) ブロック推薦枠

・都道府県大会優勝者またはブロック大会上位入賞者であり、当該ブロック長の推薦があり技術委員会が認めた選手は、ブロック毎に男女合計3名までの出場を可能とする。

・ブロックはJPA組織体系による次の8ブロックとする。

①北海道・東北、②関東、③東海、④北信越、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州・沖縄

2) 学連推薦枠

・全日本学生選手権大会優勝者であり、全日本学生連盟理事長の推薦があり技術委員会が認めた選手は、男女合計3名までの出場を可能とする。

4-2. 全日本ベンチプレス選手権大会(一般のみ)においては、標準記録に満たない選手であっても、次の基準において、ブロック推薦選手の出場を認めることができる。

1) ブロック推薦枠

・都道府県大会優勝者またはブロック大会上位入賞者であり、当該ブロック長の推薦の上、技術委員会が認めた選手は、ブロック毎に男女合計3名までの出場を可能とする。

・ブロックはJPA組織体系による次の8ブロックとする。

①北海道・東北、②関東、③東海、④北信越、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州・沖縄

4-3. 出場標準記録を有するJPA主催の全ての全国規模競技会においては、標準記録に満たない選手であっても、前項4-1および4-2にかかわらずなく、次の基準において大会主管協会推薦の選手の出場を認めることができる。

1) 大会主管協会推薦枠

・大会を主管する都道府県協会に登録している選手であり、主管協会理事長の推薦の上、技術委員会が認める選手は、男女合計3名までの出場を可能とする。

4-4. 上記いずれの推薦枠行使に際しても、当該競技会の標準記録獲得期間内に公式競技会に出場した選手であり、かつ当該競技会申込締切前に事前に推薦手続きならび出場申込が完了した場合に限り有効とする。

【表2】各全日本パワーリフティング選手権大会、出場標準記録

男子

階級 kg級	53 ※	59	66	74	83	93	105	120	120+
一般	-	515	570	620	660	700	740	770	790
ジュニア マスターズ1	415	465	515	560	595	630	665	695	710
マスターズ2	-	410	455	500	527.5	560	592.5	615	635
サブジュニア マスターズ3	280	310	340	370	395	420	445	460	475

女子

階級 kg級	43 ※	47	52	57	63	72	84	84+
一般	-	255	280	300	315	330	345	350
ジュニア マスターズ1	210	230	250	270	285	300	310	315
マスターズ2	-	200	225	240	250	260	270	275
サブジュニア マスターズ3	140	155	170	180	190	200	205	210

【表3】各全日本ベンチプレス選手権大会、出場標準記録

男子

階級 kg級	53 ※	59	66	74	83	93	105	120	120+
一般	-	135	147.5	160	172.5	185	195	200	205
ジュニア マスターズ1	107.5	120	132.5	145	155	165	175	180	185
サブジュニア マスターズ2	97.5	107.5	117.5	127.5	137.5	147.5	155	160	165
マスターズ3	-	87.5	95	105	115	122.5	130	135	140

女子 (M3新設)

階級 kg級	43 ※	47	52	57	63	72	84	84+
一般	-	60	65	70	75	82.5	90	95
ジュニア マスターズ1	50	55	60	65	70	75	80	85
サブジュニア マスターズ2	45	47.5	50	55	60	65	70	75
マスターズ3	-	40	42.5	45	47.5	52.5	57.5	60

(男女とも、マスターズ4には標準記録を設定しない)

【表2～5共通】 ※印の階級は、ジュニア・サブジュニアのみ対象、数字の赤字は改定または新設

【表4】ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会、出場標準記録

男子

階級 kg級	53 ※	59	66	74	83	93	105	120	+120
一般	-	395	435	475	510	535	560	580	590
ジュニア マスターズ1	320	355	390	425	460	482.5	505	520	530
マスターズ2	-	315	347.5	380	407.5	427.5	445	465	475
サブジュニア マスターズ3	195	215	240	260	280	292.5	310	320	325

女子 (新設)

階級 kg級	43 ※	47	52	57	63	72	84	84+
一般	-	190	210	225	235	247.5	257.5	262.5
ジュニア マスターズ1	157.5	172.5	187.5	202.5	212.5	225	232.5	235
マスターズ2	-	150	167.5	180	187.5	195	202.5	205
サブジュニア マスターズ3	105	115	127.5	135	142.5	150	152.5	157.5

【表5】ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会、出場標準記録

男子

階級 kg級	53 ※	59	66	74	83	93	105	120	+120
一般	-	107.5	117.5	127.5	137.5	147.5	155	160	165
ジュニア マスターズ1	87.5	95	105	115	125	132.5	140	145	147.5
サブジュニア マスターズ2	77.5	85	95	102.5	110	117.5	125	127.5	130
マスターズ3	-	70	75	82.5	90	95	100	105	107.5

女子 (新設)

階級 kg級	43 ※	47	52	57	63	72	84	84+
一般	-	45	47.5	52.5	55	60	67.5	70
ジュニア マスターズ1	37.5	40	45	47.5	52.5	55	60	62.5
サブジュニア マスターズ2	32.5	35	37.5	40	45	47.5	52.5	55
マスターズ3	-	30	32.5	35	37.5	40	42.5	45

関係各位

技術委員長 阿南 喜裕
(公印省略)

平成31年度 JPAが主催する全国規模の競技会における出場標準記録について

1. 出場標準記録を設ける競技会

- 1-1. 表1に定める全国規模競技会(以下、「全国大会」と称す)においては「出場標準記録」を設けるものとし、選手はその記録以上の実績を有していなければならない。尚、出場標準記録は、性別、年齢カテゴリー、階級ごとに設けるものとし、その記録は別表による。

【表1】 JPAが出場標準記録を設定する全国大会

競技会名	出場標準記録	男子 実施カテゴリー				女子 実施カテゴリー			
		一般	サブジュニア	ジュニア	マスターズ1~4	一般	サブジュニア	ジュニア	マスターズ1~4
1 全日本男子パワーリフティング選手権大会	表2	◎	—	—	—	—	—	—	—
2 全日本女子パワーリフティング選手権大会	表2	—	—	—	—	◎	—	—	—
3 全日本サブジュニアパワーリフティング選手権大会	表2	—	◎	—	—	—	◎	—	—
4 全日本ジュニアパワーリフティング選手権大会	表2	—	—	◎	—	—	—	◎	—
5 全日本マスターズパワーリフティング選手権大会	表2	—	—	—	◎ *1	—	—	—	◎ *1
6 全日本ベンチプレス選手権大会	表3	◎	—	—	—	◎	—	—	—
7 全日本サブジュニアベンチプレス選手権大会	表3	—	◎	—	—	—	◎	—	—
8 全日本ジュニアベンチプレス選手権大会	表3	—	—	◎	—	—	—	◎	—
9 全日本マスターズベンチプレス選手権大会	表3	—	—	—	◎ *1	—	—	—	◎ *1
10 ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会	表4	◎	◎	◎	◎ *1	◎	◎	◎	◎ *1
11 ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会	表5	◎	◎	◎	◎ *1	◎	◎	◎	◎ *1

※上記1~9:フルギア大会、10~11:ノーギア大会

- 1-2. 以下のカテゴリーについては、出場標準記録を設けないものとする。

*1. 全ての全国大会における、マスターズ4部門。(カレンダーイヤーによる70歳以上)

※全ての全国大会において、女子の標準記録を新設する。(マスターズ4部門を除く)

2. 選手の実績として認められる有効期間と競技会

- 2-1. 選手の実績は、次に定める期間および競技会における成績を有効とする。

- 2-2. 有効期間は、当該全国大会の前年度開催日の初日から、当年度の申込み締切日までとする。(大会当日の記録を含む) 但し、その期間が6ヶ月未満となる場合は、別途定めるものとする。

- 2-3. 有効とする競技会は、以下のとおりとする。

1) 日本国内で開催されるJPA公認競技会であること。

例1) 平成31年度全日本マスターズパワーリフティング選手権大会においては、平成30年度の同大会の成績は有効である。

また、同大会以降開催の他の全国大会(全日本男女パワーリフティング選手権大会等)の成績も有効である。

2) IPF・APF主催ならび傘下協会主催の各世界選手権大会

原則として、カテゴリー(フルギア/ノーギア)、および競技種別(パワーリフティング/ベンチプレス)は同一であること。

パワーリフティング競技会のベンチプレス種目の記録がシングルベンチプレス競技の標準記録を突破した際は、従来通りそれを認める。

但し、ノーギア大会でフルギア全国大会の標準記録を突破した場合は、それを認める。

例1) フルギア大会での成績が、ノーギア全国大会の標準記録を超えていたとしても、それへの出場はできない。

- 2-4. マスターズIV等標準記録を定めないカテゴリーでも、上記2-2.で定められた期間内に最低1回以上の公式戦参加が必要となる。

参加が無い場合は、標準記録の有無にかかわらず、当該競技会への参加要件を満たさないものとして扱う。

なお、この項は、平成27年6月1日以降に実施される全国規模競技会すべてに適用される。

3. 実績と異なる階級への出場について

選手は、標準記録以上の成績を納めた際の階級と異なる階級へは、出場はできないものとする。

但し、体重より更に重い階級の標準記録を突破している場合のみ、その重い階級への出場は認められる。

例1) 74kg級で出場した際に、83kg級の標準記録まで突破している選手は、66kg級へは出場できないが、83kg級には出場できる。

4. 推薦枠について

4-1 全日本パワーリフティング選手権大会(一般のみ)においては、標準記録に満たない選手であっても、次の基準においてブロック推薦選手および学連推薦選手の出場を認めることができる。

1) ブロック推薦枠

・都道府県大会優勝者またはブロック大会上位入賞者であり、当該ブロック長の推薦があり技術委員会が認めた選手は、ブロック毎に男女合計3名までの出場を可能とする。

・ブロックはJPA組織体系による次の8ブロックとする。

①北海道・東北、②関東、③東海、④北信越、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州・沖縄

2) 学連推薦枠

・全日本学生選手権大会優勝者であり、全日本学生連盟理事長の推薦があり技術委員会が認めた選手は、男女合計3名までの出場を可能とする。(クラシックパワーにおいて、一般枠に対し有効とする)

4-2. 全日本ベンチプレス選手権大会(一般のみ)においては、標準記録に満たない選手であっても、次の基準において、ブロック推薦選手の出場を認めることができる。

1) ブロック推薦枠

・都道府県大会優勝者またはブロック大会上位入賞者であり、当該ブロック長の推薦の上、技術委員会が認めた選手は、ブロック毎に男女合計3名までの出場を可能とする。

・ブロックはJPA組織体系による次の8ブロックとする。

①北海道・東北、②関東、③東海、④北信越、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州・沖縄

4-3. 出場標準記録を有するJPA主催の全ての全国規模競技会においては、標準記録に満たない選手であっても、前項4-1および4-2にかかわらずなく、次の基準において大会主管協会推薦の選手の出場を認めることができる。

1) 大会主管協会推薦枠

・大会を主管する都道府県協会に登録している選手であり、主管協会理事長の推薦の上、技術委員会が認める選手は、男女合計3名までの出場を可能とする。

4-4. 上記いずれの推薦枠行使に際しても、当該競技会の標準記録獲得期間内に公式競技会に出場した選手であり、かつ当該競技会申込締切前に事前に推薦手続きならび出場申込が完了した場合に限り有効とする。

【表2】各全日本パワーリフティング選手権大会、出場標準記録

男子

階級 kg級	53 ※	59	66	74	83	93	105	120	120+
一般	-	515	570	620	660	700	740	770	790
ジュニア マスターズ1	415	465	515	560	595	630	665	695	710
マスターズ2	-	410	455	500	527.5	560	592.5	615	635
サブジュニア マスターズ3	280	310	340	370	395	420	445	460	475

女子

階級 kg級	43 ※	47	52	57	63	72	84	84+
一般	-	255	280	300	315	330	345	350
ジュニア マスターズ1	210	230	250	270	285	300	310	315
マスターズ2	-	200	225	240	250	260	270	275
サブジュニア マスターズ3	140	155	170	180	190	200	205	210

【表3】各全日本ベンチプレス選手権大会、出場標準記録

男子

階級 kg級	53 ※	59	66	74	83	93	105	120	120+
一般	-	135	147.5	160	172.5	185	195	200	205
ジュニア マスターズ1	107.5	120	132.5	145	155	165	175	180	185
サブジュニア マスターズ2	97.5	107.5	117.5	127.5	137.5	147.5	155	160	165
マスターズ3	-	87.5	95	105	115	122.5	130	135	140

女子

階級 kg級	43 ※	47	52	57	63	72	84	84+
一般	-	60	65	70	75	82.5	90	95
ジュニア マスターズ1	50	55	60	65	70	75	80	85
サブジュニア マスターズ2	45	47.5	50	55	60	65	70	75
マスターズ3	-	40	42.5	45	47.5	52.5	57.5	60

(男女とも、マスターズ4には標準記録を設定しない)

【表2～5共通】 ※印の階級は、ジュニア・サブジュニアのみ対象

【表4】ジャパンクラシックパワーリフティング選手権大会、出場標準記録

男子

階級 kg級	53 ※	59	66	74	83	93	105	120	+120
一般	-	395	435	475	510	535	560	580	590
ジュニア マスターズ1	320	355	390	425	460	482.5	505	520	530
マスターズ2	-	315	347.5	380	407.5	427.5	445	465	475
サブジュニア マスターズ3	195	215	240	260	280	292.5	310	320	325

女子

階級 kg級	43 ※	47	52	57	63	72	84	84+
一般	-	190	210	225	235	247.5	257.5	262.5
ジュニア マスターズ1	157.5	172.5	187.5	202.5	212.5	225	232.5	235
マスターズ2	-	150	167.5	180	187.5	195	202.5	205
サブジュニア マスターズ3	105	115	127.5	135	142.5	150	152.5	157.5

【表5】ジャパンクラシックベンチプレス選手権大会、出場標準記録

男子

階級 kg級	53 ※	59	66	74	83	93	105	120	+120
一般	-	107.5	117.5	127.5	137.5	147.5	155	160	165
ジュニア マスターズ1	87.5	95	105	115	125	132.5	140	145	147.5
サブジュニア マスターズ2	77.5	85	95	102.5	110	117.5	125	127.5	130
マスターズ3	-	70	75	82.5	90	95	100	105	107.5

女子

階級 kg級	43 ※	47	52	57	63	72	84	84+
一般	-	45	47.5	52.5	55	60	67.5	70
ジュニア マスターズ1	37.5	40	45	47.5	52.5	55	60	62.5
サブジュニア マスターズ2	32.5	35	37.5	40	45	47.5	52.5	55
マスターズ3	-	30	32.5	35	37.5	40	42.5	45